



# 2022-2023 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：元木 誠二 ● 副会長：村田 均、高木 壽一 ● 幹事：森田 拓巳
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前  
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町 16-10  
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス sharirotdary@peach.plala.or.jp

## 第 2891 回例会 2023 年 1 月 25 日 (水)

発行：会報・広報・雑誌委員会

点鐘：元木 誠二 会長

司会：鈴木 市郎 委員

### 1. ゲストおよびビジター紹介 ～元木会長

- ・新十津川町 長太 (ながた) 農場  
代表 長太 均様、葉子様 ご夫妻



### 2. ローターリーソング ～我等の生業

### 3. 会長の時間 ～元木会長

本日は、「職業奉仕」について私なりにまとめたこととお話したいと思います。

ロータリークラブの発足は皆さんもご存知の通り 1905 年ポール・ハリスを含む 4 名の会員で誕生しました。

初期のロータリーは、「会員相互取引と親睦」を目的としたものとなっており、そこに職業奉仕思想なるものは存在していなかったと言う方もいます。

当時のシカゴは、人をだまして商売をする業者が多かったらしく、ロータリーに入会すれば信用のある会社と安心して取引が出来るという誰しもが入会しようとしていたそうです。そのため、初期のロータリークラブの会員数は爆発的に増えて行ったそうです。

このように、当時のロータリークラブというのは「クラブに入会すれば会社の利益につながる」という考えで入会した人が多かったと言われています。

しかし、後に新聞紙上において「ロータリアンだけ儲かって良いのか、これは経済の秩序を乱すものである」との批判を受けたことに対して、「社会奉仕の父」と言われるドナルド・カーターが、「ロータリーを永続的に発展させるならば、自分たちの利益だけを追求するのではなく、世間の人たちの共感を得られなければならない」と説きました。

これを機に、ロータリーは「相互扶助と親睦」を目的とした時代から大きく方向を変換し、社会奉仕や国際奉仕を中心とした理念に変化し、相互扶助は物質的なものから精神的なものへ変化していきました。

同時に、物質的相互扶助を目的として入会した会員はメリットがなくなり退会が多く、会員減少へとつながりました。

そこで、ポスト相互扶助となるべき理論が「職業奉仕」です。

1916 年には、シンシナティ大会から「一業種一人」という大原則のもとに「職業奉仕部門」が始まっています。

このように、「職業奉仕」とは物質的相互扶助から変化して誕生した思想ということをまずは知ることが大切です。

「職業奉仕」という言葉は「職業を営むことが、世のため人のための奉仕となる」という意味があります。そこを紐解いていきましょう。

「マイロータリー事典」によれば「職業の心」と「奉仕の心」は「ひとつの心」とであると表記しています。



即ち、「世のため、人のために奉仕をする心をもって、職業を営むべし」という言葉で表せられておりますが、私にとって紐解くと言っているながら難しくなってきました。  
ということで、時間の都合もありますので、本日の「職業奉仕」についてはここで終わらせていただきます。

ただ、今回会長の時間で「職業奉仕」についてスピーチしようと決心した際に、様々なロータリー理論や歴史を知ることが、「職業奉仕」の理解へとつながると考え、私なりに調べていきました。その過程で言葉では皆さんへ伝えることが難しいと思えば思うほど以前に卓話をしていただいた武藤委員長のことをイメージすることが多くなりました。

以前、武藤会員に卓話をしていただいた「海難事故とお花」についてが、まさに「職業奉仕」ともいえる行動だったのではないかと感じています。

今日は「職業奉仕」というかなり難しいテーマを選んでしまった結果、スピーチとしてはまとまりがない会長の時間となってしまいました。

「職業奉仕」とは何か？ということは今後も皆さんと議論を交わしたいものです。

#### 4. 幹事報告 ~なし

#### 5. 委員会、その他の報告 ~なし

#### 6. 本日のプログラム ~鈴木委員

◆ ゲスト卓話 新十津川町 長太農場 代表 長太 均様、葉子様 ご夫妻

##### ◆武藤 職業・社会奉仕委員長

「職業奉仕月間」のプログラムとしては「職場訪問」というのがメインだったのかな、と色々お話を伺っておりましたが、私は経験したことが無いので今回は「職業訪問」ということでゲストをお迎えしてお話をいただくことにしました。

今年のガバナー公式訪問で久木ガバナーがすばらしい起業家さんのお話をされておられましたので、それに発想を得まして今回は田中会員の会社の社長でいらっしゃる長太様ご夫妻にお越しいただき、町外ではありますが「起業」に関わるお話をさせていただきます。

##### ◆田中会員~ゲストの紹介

今お話しいただいたように、若手の起業家という形でご紹介いただいたのですが、起業家というより農家さんと言った方が良いのかなと思います。

新十津川町ですと歴史ある中で米農家としてやって来られた方です。色々なことにこだわって、お米作りとか他の作物も作っていらっしゃる、遠い新十津川の方がどうしてこの知床でお店をやっているのか改めて聞いてみたいなと思います。

外から見た知床斜里町はどのように映るのか等をお聞かせいただければと思います。

##### ◆長太農場 代表 長太 均様

私どもは、北海道は新十津川町で農業を営んでおります。

北海道入植の頃から代々農業を受け継いでまいりました。

みなさまのお口に直接入るものを作る農業。それが、どれほど生活に直結し、どれほど重要な仕事であるのか・・・安心・安全はもちろんのこと、本当に喜んでいただける美味しいものを作りたい。

ただ美味しいのではなく、体が喜ぶ作物を。

先代・先々代から受け継がれてきた技術を元に。

2014年、農薬・肥料を使用しない自然栽培米への挑戦を開始しました。安心・安全・高品質な作物を自信を持ってお届けいたします。

「美味しい」ということの本当の意味。「体が喜ぶ」とはどういうことか、是非体感なさってください。



◆長太農場 長太 葉子様

今、ご紹介いただきました長太 葉子と申します。

これまでのお話しの中で、「自然栽培」という言葉が出てきたと思いますが、農薬を使わないとかなるべく化学肥料を抑えたりとか「身体に良い」ということに興味があったので始めたのですが、それを田中さんが見つめてくれて斜里町さんとのご縁ができました。

「身体に良い」という部分がヨガと一致しまして現在ヨガ教室を開いております。

ヨガの歴史をさかのぼって行くと本当に一番最初は「心の平穏のため」に作られたものです。

本当は、アクロバティックなポーズを取らなくても心が落ち着くものです。

ヨガというのは、「身体と心がつながっている」ということに気が付いて、それをコントロールして行くということなんです。体を使って心を楽にして行きましょう。



(姿勢や呼吸法など実技指導がありました)



◆例会後に、長太ご夫妻は野尻会員の加工場とタラ干場も見学されました。

寒さとタラの加工に感嘆し、海の町を実感されました。(文、写真：武藤会員提供)



7. ニコニコ B O X

～下山 親睦活動副委員長

- ・本人誕生祝～鈴木会員
- ・奥様誕生祝～村田会員

8. 出席報告

～樽見 出席・プログラム委員長

- 本日出席～33名中 21名出席 (出席率：63.6%)

☆ 幹事より次回例会の案内

- ・次回は 2/1 (水) 第 2892 回例会 産業会館 2F



2022-2023 国際ロータリーのテーマ

イマジンロータリー

斜里 RC 会長のテーマ

自分にとってのロータリーの  
魅力を発見しよう